資料２

第１～３回の各委員からの意見（テーマ別）

①自治会への加入促進

条例制定関係

・加入率の改善には条例の制定が必要（第１回）
・条例を検討するにあたり、他市の条例を参考事例とすると良い（第１回）
・自治会の存在意義を明確化する必要がある（第２回）
・条例は自治会への加入を依頼する根拠になる（第２回）

【条例の効果】
・役割の明確化（当事者意識を持つ、意識醸成）
・条例を根拠とした加入勧誘
・他組織との連携が強化される
・法的な限界がある（強制力や罰則を定めることが難しい）

自治会加入メリット

・自治会加入のメリットを明確化する必要がある（第２回）
・自治会加入のメリットがあっても加入しない人に、加入してもらうには（第２回）
・高齢者の見守り等は、自治会加入の魅力でありメリットになる（第２回）

【対応策・方針】

②自治会運営の現状

業務負担

・行政や他団体から依頼される業務の負担が大きい（第１回）
・行政や他団体からの業務負担が大きく、本来の目的が発揮されていない（第２回）
・デジタル化は自治会業務の改善の視点から重要（第１回）
・自治会費の集金業務の負担が大きい（第１回）
・自治会の規模によって状況や課題が異なるため、様々な視点で検討が必要（第１回）
・若い人に仕事を任せてみる必要がある（第２回）
・自治会の本来の目的は、地域の親睦を図ることではないか（第２・３回）

【対応策・方針】

役員のなり手不足

・高齢化等による役員のなり手不足（第１・２回）
・役員のなり手不足対策を重点的に議論してほしい（第２回）

【対応策・方針】

自治会未加入者への対応

・単身アパートの増加等により、地域関係が希薄化している（第１回）
・自治会に加入しない理由を調べる必要がある（第１回）
・自治会への勧誘は世代等を意識したアプローチが良い（第２回）
・自治会は地域親睦との関係づくりが大切（第２・３回）

【対応策・方針】

③情報発信

・自治会の活動内容を知らない人が多い（第１回）
・情報発信や広報等を積極的に行うべき（第２回）

【対応策・方針】

④他コミュニティとの連携

連携の推進

・他の団体等と連携に消極的な自治会がある（第１回）
・自治会と他団体との連携を強化する必要がある（第２回）
・事業者も地域の一員として、自治会活動にしっかりと協力すべき（第１回）
・住宅関連事業者から自治会加入を勧めると加入率が良くなる（第２回）

【対応策・方針】

今後に向けて

・総務省「指定地域共同活動団体」制度の将来的な活用（第１回）
・自治会連合会の在り方について検討する必要がある（第２回）
・条例の制定後、各関係者が具体的にどのような行動をとるのかが重要（第３回）
・条例の制定後「自治会を応援するプラン」を作る必要がある（第３回）

【対応策・方針】